

はじめに

この物語は私こと『さっちゃん』が五十七年間の人生をどのように歩んできたかを綴っています。

私は、話をするのがとても苦手です。人の感情を敏感に感じ取り、さらに言語を順序よく組み合わせることができないので、生きるために必要な、人と会話をしコミュニケーションを取っていくのが課題でした。そして、人からも好かれるタイプではなく、一風変わった人間のようなので、孤独な時間のほうが圧倒的に多かったです。しかも幼少のころからずっと試練のような日々を過ごし、それをなんとか克服してきました。そのような私ですが、この年齢になっても好奇心を持って決断や行動をしながら変化を受け入れ、ワクワクしながら進化しているのは自分だけの力ではなく、ご先祖様や何かの力に導かれ、守護されているからだと思っています。

この世の中には不思議な出来事がたくさんあります。不安を感じながらも思いきって一歩踏み出してみると、今まで知らなかった世界やたくさんの人々とのつながり、そして自分の世界も広がっていくのです。そのように普通ではなかなか体験できない、信じられないような不思議で面白いエピソード

を盛り込みながら、導かれるようにスピリチュアルの世界へと足を踏み入れていく様子をこの本に書き上げました。切ないけれど笑いありの『さっちゃん』の世界観にどっぷり浸っていたただけなら嬉しいです。

それでは、不思議な世界の始まりです。